

2020年12月8日

日伯交流委員会 2020年度 活動報告

委員会メンバー

委員長 安田 篤 (Sompo Seguros)

副委員長 藤代 泰輔 (Nippon Express)

副委員長 岡本 将紀 (Sompo Seguros)

2020年通年活動方針 (★印が中間報告内容)

1) 日本・ブラジル両国間の新たな共存関係を展望した人的基盤の構築

⇒2016年リオデジャネイロからバトンを受ける形で開催される2020年東京オリンピック・パラリンピック並びに2025年の開催が決定した大阪・関西万博等を見据え、中長期的な観点に立った日伯両国間の人的交流機会の発掘

★COVID-19感染対策対応に伴う2020年東京オリンピック・パラリンピックの延期

や渡航制限の影響により、人的交流の機会は大幅に減少

(2021年東京オリパラ開催を前提とした地歩固めを準備)

2) 日系諸団体、青年会議所、ブラジル国内並びに近隣諸国の日系商工会議所等との連携・相互交流機会の強化を通じた共同イベントの開催並びに次世代における日伯間の人的な関係強化を視野に入れた施策の企画の立案・実行

★ブラジルをはじめとする南米地域全般におけるCOVID-19感染拡大による影響

から、ブラジル日系諸団体、近隣諸国関係団体等におけるイベントの開催や

交流の機会は実質的に停止状態

★青年会議所、文協との連携による貧困生活者への炊き出しプロジェクトへの協賛を実施

3) ジャパンハウス (以下 J H) 並びに会議所会員各位との有機的な連携並びに J H の

持続的な運営に資する具体的な提言の発信

★COVID-19との共存を前提としたハイブリッド戦略（Presencial/Virtual）による

JHの新しい運営を模索（4月に就任したEric Klug 新館長をサポート）

★ダイヤモンド会員 2社

ゴールド会員 4社

更に2社の会員獲得を交渉していたが、COVID-19の影響により当面断念

★検温、除菌、空気清浄等における日系企業のテクノロジーを駆使した感染対策

をベースに、2020年10月20日よりJHリオープン

以上